

2019年5月資金需給予想

	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	主要項目	日銀調節
1(水)			0	新天皇即位日	
2(木)			0	国民の休日	
3(金)			0	憲法記念日	
4(土)			0	みどりの日	
5(日)			0	こどもの日	
6(月)			0	振替休日	
7(火)	5,200	▲ 20,200	▲ 15,000	2Y発行▲20000 交付税借入▲10500償還10500	国債買入5000 CP買入▲100 国債補充▲100
8(水)	6,900	▲ 11,700	▲ 4,800	税保険料揚げの前倒し	国債買入10000 CP買入▲100 国債補充100
9(木)	5,700	▲ 47,500	▲ 41,800	税保険料揚げ TB3M発行▲43000償還43100 10Y発行▲21000	CP買入▲100
10(金)	4,800	700	5,500	TB6M発行▲23000償還22300 交付税借入▲10500期日10500	国債買入5500 CP買入▲800
11(土)			0		
12(日)			0		
13(月)	5,000	▲ 4,000	1,000	TB3M発行▲43000償還42800 10Y物価連動発行▲4000	全店共通(固)▲4100
14(火)	4,000	▲ 4,000	0	源泉所得税揚げ	
15(水)	4,000	▲ 1,000	3,000	2Y償還10200 30Y発行▲7000 個人向け3・5・10Y発行▲4000(見込) 個人向け3・5Y償還800	
16(木)	4,000	1,000	5,000	交付税借入▲10500期日10500	
17(金)	2,000	▲ 21,000	▲ 19,000	5Y発行▲19000	被災地支援▲300
18(土)			0		
19(日)			0		
20(月)	1,000	▲ 1,000	0	TB3M発行▲43000償還43400 TB1Y発行▲19000償還14900 変動15Y償還5900 エネルギー対策借入▲8500期日8000	全店共通(固)▲1500
21(火)	0	▲ 5,000	▲ 5,000	流動性供給▲6000	CP買入2500
22(水)	0	▲ 1,000	▲ 1,000		
23(木)	▲ 1,000	▲ 9,000	▲ 10,000	20Y発行▲9000	
24(金)	▲ 1,000	1,000	0	交付税借入▲10500期日10500	
25(土)			0		
26(日)			0		
27(月)	0	▲ 4,000	▲ 4,000	TB3M発行▲43000償還43400 流動性供給▲4000 国有林野事業借入▲500(見込)期日500	社債買入1000
28(火)	0	11,000	11,000	地方貸し	
29(水)	0	▲ 4,000	▲ 4,000	40Y発行▲4000	
30(木)	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 3,000		
31(金)	▲ 900	▲ 600	▲ 1,500	交付税借入▲10500期日10500	CP買入2000

計	38,700	▲ 122,300	▲ 83,600
---	--------	-----------	----------

今月は、9日に税・保険料揚げ、14日に源泉所得税揚げがある。28日に地方貸し、月末近辺に児童手当の払いが見込まれる。また、月初は10連休明けとなることで銀行券の大量還流が見込まれる。

主な不足日(見込み) 7日、9日、17日、23日 主に財政等要因
主な余剰日(見込み) 28日 主に財政等要因

◆日銀当座預金増減要因（2019年5月見込み）出所：日本銀行

	見込み	前年実績	前年同月比	銀行券当月末残高 前年同月比見込み
銀行券要因	38,700	13,669	25,031	3.9%
財政等要因	▲ 122,300	▲ 176,026	53,726	
国債等	▲ 86,300	▲ 97,827	11,527	
国庫短期証券等	▲ 6,100	▲ 41,868	35,768	
上記を除くその他	▲ 29,900	▲ 36,331	6,431	
資金過不足	▲ 83,600	▲ 162,357	78,757	

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。
日本銀行が国債買入オペ等を通じて前月末までに取得した国債の当月における償還額は16,200億円程度。
日本銀行が国庫短期証券売買オペを通じて前月末までに取得した国庫短期証券の当月における償還額は7,700億円程度。

◆財政資金対民間収支（2019年5月中見込み）出所：財務省

区分	見込み	前年実績	前年同月比	備考
一般会計	22,020	25,552	▲ 3,532	
租税	49,590	50,507	▲ 917	消費税・源泉所得税等の受入
税外収入	2,540	4,009	▲ 1,469	
社会保障費	▲ 20,380	▲ 19,977	▲ 403	後期高齢者医療給付費等負担金の支払等
地方交付税交付金	▲ 770	▲ 683	▲ 87	
防衛関係費	▲ 3,110	▲ 2,876	▲ 234	
公共事業費	▲ 1,390	▲ 1,289	▲ 101	
義務教育費	▲ 930	▲ 937	7	
その他支払	▲ 3,530	▲ 3,203	▲ 328	
特別会計	2,610	▲ 2,211	4,821	
財政投融资	▲ 9,940	▲ 14,026	4,086	地方公共団体に対する貸付等
外国為替資金	-	▲ 1,702	1,702	
保険	16,140	16,949	▲ 809	保険料等の受入
その他	▲ 3,590	▲ 3,432	▲ 158	
一般会計・特別会計等小計	24,630	23,341	1,289	
国債等	86,250	97,827	▲ 11,577	
国庫短期証券等	6,060	41,868	▲ 35,808	公募発行見込額約21.6兆円
国債等・国庫短期証券等小計	92,310	139,694	▲ 47,384	
調整項目	60	67	▲ 7	
総計	117,000	163,102	▲ 46,102	

◆2019年5月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、7日（2Y発行）、9日（税・保険料揚げ、10Y発行）、17日（5Y発行）、23日（20Y発行）。一方、主な余剰予定日は28日（地方貸し）。

◆2019年5月の短期金融市場予想

●コール市場

10連休明け初日こそ決済を控える先が見られたものの、積み期間が残り少ないこともあり、その後の無担保コールO/N物は出来高が増加傾向となっている。加重平均レートは、レポレートが上昇していることもあって、上昇傾向となっている。15日にかけても、積み終盤の調整からレートの上昇傾向は続く予想される。16日以降の新しい積み期間では、加重平均レートは一旦低下して始まると予想される。5月末の日銀当座預金残高は4月末とほぼ横ばいか若干減少すると予想される。

●CP市場

4月末の発行残高は20兆196億円と、卸売・ノンバンク業態等を中心に幅広い業態からの発行が見られ、前年同月比で大きく増加した（2018年4月末16兆2,242億円）。10連休対応のカード会社発行増で、ノンバンクの月末残高は過去最高となった。5月末にかけて、税・配当対応の資金需要が見込まれることから、発行残高は一層の増加が見込まれるものの、ディーラー等の購入意欲は引き続き強く、発行レートは概ね0%近辺となることが予想される。

●短国市場

4月下旬は、月末の10連休前に海外勢からの買いが入ったことで、レートが若干低下していたものの、月初に短国の入札が連続して行われたことで、3M物と6M物は▲0.15%前後まで上昇した。月後半にかけては、▲0.1%台半ばから後半での推移になると予想する。今月の短国買入オペは、月中償還額の7,661億円を上回るオフアが見込まれる。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目録見書をよくお読みください。